

広島大学法科大学院

# 法律科目試験

## [憲法]

2021年11月13日(土)

13:20～14:20

### 注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて、1ページです。
- 2 問題は1問、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

[憲法] (60点)

Y県は、同県内における女性の高等教育機関への進学率が男性に比べて著しく低かったため、195\*年に、女性の社会進出及び女性リーダー育成を支援する高等教育機関として、女性のみに入學を認めるY県立A女子大学(以下「A大学」という。)を創設した。その後、Y県内においても女性の高学歴化が進み、現在では高等教育機関への進学率の男女間における差異はほとんどみられなくなっているが、A大学は依然として女性の入學しか認めていない。

A大学は、これまで、栄養士の育成機関として実績を積み重ねており、現在でも、厚生労働大臣が指定する栄養士の養成施設としては、Y県内で唯一の施設である(栄養士になるためには、厚生労働大臣が指定する栄養士の養成施設で、そのために必要な知識や技能を2年以上かけて修得した後、住所のある都道府県の知事に免許の申請をすることが求められる。)

Y県内に居住する男性Xは、栄養士の資格を取得したいと思い、自宅から通学することのできる唯一の栄養士の養成施設であるA大学に入學願書を提出した。ところがA大学は、A大学学則10条及びA大学出願資格1に基づき、Xが女性ではないことを理由として、受験資格がないとの判断をした。そこでXは、A大学のこの判断について損害賠償を求める訴訟を提起することとした。

Xは、A大学の上記判断が違法であるというために、憲法上の主張をすることを考えている。Xとしては、具体的にどのような憲法上の主張をすることが考えられるかを簡潔に説明した上で、当該主張の当否を検討しなさい(なお、A大学は現在もY県が直接に設置する大学であるため、憲法上の人権関連規定の私人間効力をめぐる問題は、ここでは検討する必要はない。)

[参考資料]

Y県立A女子大学学則

第10条 本学に入學することのできる者は、次に該当する女子とする。

一 ～ 八 (省略)

Y県立A女子大学出願資格

1 本学に出願することができる者は、次に該当する女子とする。

(1) ～ (5) (省略)

広島大学法科大学院

# 法律科目試験

## [刑法]

2021年11月13日(土)

14:40~15:40

### 注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて、1ページです。
- 2 問題は1問、解答用紙は2枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

[刑法] (60点)

次の【事例1】及び【事例2】を読んで、(1)から(3)までの問いに答えなさい。

【事例1】

Xは、某日深夜、人気のない公園で帰宅途中の会社役員Aを見つけ、Aを殺して金品を奪ってやろうと考えた。Xは、Aの背後からその頭部を金属棒で数回殴打しAを死亡させた。その直後、XはAの上着の内ポケットから現金40万円入りの財布を奪った。

(1) 【事例1】におけるXの罪責について、論じなさい。

【事例2】

Xは、某日深夜、人気のない公園で帰宅途中の会社役員Aを見つけ、Aを殺して金品を奪ってやろうと考えた。Xは、Aの背後からその頭部を金属棒で数回殴打しAを死亡させた。その直後、Xの遊び仲間Yが通りかかった。Xから事情を全て聞いたYが自分も一枚かませろと言うので、Xはこれを了承し、XがAの現金40万円入りの財布を、YがAの高級腕時計(時価30万円相当)をそれぞれ奪った。

(2) 【事例2】におけるYの共犯責任の検討において、刑法240条を身分犯と解するか結合犯と解するかによってどのような違いが生じるかを論じなさい。

(3) 【事例2】におけるYの共犯責任の検討において、刑法240条の既遂時期をいかに解するかによってどのような違いが生じるかを論じなさい。

広島大学法科大学院

# 法律科目試験

## [民法]

2021年11月13日(土)

16:00~18:10

### 注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて、3ページです。
- 2 問題は民法2問、民事訴訟法1問、商法1問の計4問、解答用紙は民法2枚、民事訴訟法1枚、商法1枚、下書用紙は1枚です。民法は問題ごとに解答用紙があります。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 17時00分以降18時00分までの間については、解答用紙を提出して退出することができます。退出後、試験室に戻ることはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

[民法] (80点)

第1問 (40点)

Aは、Bが所有する甲土地に産業廃棄物を大量に投棄して甲土地を不法に占拠している。これに先立って、Cは、Bとの間で、「ある契約」を締結していたとする。この場合、Cは、Aに対し、Cが有する「ある契約」から発生する権利に基づいて、甲土地上の産業廃棄物の撤去を求めることができるか、BC間の「ある契約」が次の(1)から(3)までの場合につき、それぞれ検討しなさい。

なお、甲土地は産業廃棄物を撤去しなければ使用できない状態にあり、産業廃棄物は費用をかければ撤去可能である。また、産業廃棄物によって甲土地が汚染されたという事情はないため、甲土地の評価額は産業廃棄物があることによって影響を受けていない。

- (1) 賃貸借契約。なお、当該契約は建物所有を目的とするものではなく、また、甲土地に賃借権設定登記はなされていないものとする。
- (2) 地上権設定契約。なお、甲土地上に地上権設定登記はなされていないものとする。
- (3) 抵当権設定契約。なお、甲土地上に抵当権設定登記はなされていないものとする。

第2問 (40点)

Aは、Bとの間で、Aが所有する乙自動車をBに200万円で売却することを合意した(以下「本件売買契約」という。)。本件売買契約では、乙自動車の引渡しは1週間後にAの自宅の車庫で行うこと、代金の支払は乙自動車の引渡しと引換えに行うこと、Aは乙自動車を引渡期日まで屋根付きの駐車場で保管すること、が約定された。

乙自動車の引渡期日の前に、乙自動車を保管する屋根付きの駐車場に雷が落ちて乙自動車が焼失した。この場合、乙自動車の引渡期日において、AがBに対し代金の支払を求めた場合、Bはどのように対応することができるか。また、仮に代金支払債務は消滅しないとした場合、Bはどのようにしてこの債務を消滅させることができるか。なお、落雷による乙自動車の焼失は不可抗力とする。

[民事訴訟法] (30点)

次の文章を読んで、(1) から (4) までの問いに答えなさい。

【事例】

Xは、「私Xは、Aに対して、200万円を貸し付けた。しかし、弁済期が到来したにもかかわらず、Aは200万円を返済しない。Aは現在亡くなっており、相続人はAの子Yだけである。」と主張し、Yに対して本件貸金200万円の返還を求める訴えを提起した。裁判所は、訴状審査の後、第1回口頭弁論期日を指定し、訴状・呼出状をYに送達した。これを受けてYは、第1回口頭弁論期日までに、「Aが死亡した事実、及び、私YがAの子であり、その遺産を相続した事実は認める。AがXから200万円を借り受けた事実は知らない。仮にAがXから一定額を借り受けていたとしても、AはXに対して、50万円を返済した。」と主張する答弁書を提出し、Xの請求を棄却する判決を求めた。

(1) Xは、第1回口頭弁論期日に出席の上、訴状に記載した事項を陳述したが、Yは同期日に出席しなかった。裁判所は、Yの答弁書に記載された事項をどのように扱うべきか。根拠条文を指摘しつつ、2～3行で簡潔に説明しなさい。

【事例 (続き)】

その後、本件は、弁論準備手続に付されることになった。第1回弁論準備手続期日において、Xは、本件貸付けの事実を証明するために、「AはXから200万円を借り受けた」旨が記載された借用書を提出した。また、Yは、50万円の弁済を証明するために、「XはAから50万円を受領した」旨が記載された領収書を提出した。

(2) 裁判所は同期日において、借用書及び領収書の証拠調べを実施できるか。根拠条文を指摘しつつ、2～3行で簡潔に説明しなさい。

【事例 (続き)】

結局、裁判所は、Xの主張、Yの主張をいずれも認め、Xの請求を150万円の限度で認容する旨の判決を出した。

(3) Xが200万円の貸金返還請求をしているにもかかわらず、裁判所が150万円の限度でのみ認容する旨の判決を出すことは、処分権主義に反しないのか。問題となり得る根拠条文を指摘しつつ、説明しなさい。

【事例 (続き)】

上述の前訴判決の確定後、Yは、「XはAから150万円を受領した」旨が記載された領収書をAの遺品の中から新たに発見したとして、Xに対して本件貸金債務150万円が不存在である旨の確認を求める訴え(後訴)を提起した。

(4) 裁判所はこのようなYの後訴をどのように扱えばよいか。根拠条文を指摘しつつ、説明しなさい。

[商法] (30点)

取締役会に関する、次の(1)から(3)までの問いに答えなさい。

- (1) 代表取締役を選定する取締役会において、当該選定候補者は議決に加わることができるかについて、論じなさい。
- (2) 代表取締役を解職する取締役会において、当該解職候補者は議決に加わることができるかについて、論じなさい。
- (3) 特別の利害関係を有する取締役が議決権を行使して成立した取締役会の決議であっても、有効となる場合について、論じなさい。